

平成 2 6 年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」
の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第 2 6 条の規定に基づき議会に提出

飯 豊 町 教 育 委 員 会

目 次

- 1 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

1 教育委員会の活動状況

飯豊町教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則(昭和44年7月17日教委規則第2号)により、委員長が必要と認めた場合において開催することとしている。
- (2) 教育委員会会議については原則公開としているが、平成26年度において傍聴者はなかった。
- (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。
なお、平成26年度の開催状況は以下のとおりである。

平成26年第5回教育委員会(H26.4.18)

議事

- (1) 平成26年度飯豊町要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (2) 平成26年度飯豊町特別支援教育就学奨励費の交付認定について
- (3) 飯豊町立学校医の委嘱について
- (4) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (5) 飯豊町立保育園嘱託医の委嘱について
- (6) 飯豊町社会教育委員の任命について
- (7) 飯豊町スポーツ推進審議会委員の任命について
- (8) 飯豊町公民館分館長の委嘱について

平成26年第6回教育委員会(H26.5.28)

議事

- (1) 飯豊町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正す

る条例の制定について

- (2) 飯豊町スクールカウンセラー設置要綱の制定について
- (3) 飯豊町スクールカウンセラーの委嘱について
- (4) 飯豊町子ども読書活動推進協議会設置要綱の制定について
- (5) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について
- (6) 学校評議員の委嘱について
- (7) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (8) 平成26年度飯豊町要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (9) 飯豊町子ども・子育て会議委員の委嘱について

平成26年第7回教育委員会(H26.7.29)

議事

- (1) 平成27年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について

平成26年第8回教育委員会(H26.8.28)

議事

- (1) 飯豊町障がい児就学指導委員会規則の一部改正について
- (2) 平成25年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

平成26年第9回教育委員会(H26.10.1)

議事

- (1) 飯豊町教育委員会委員長の選任について
- (2) 飯豊町教育委員会委員長職務代理者の指定について
- (3) 飯豊町社会教育推進員の委嘱について

平成26年第10回教育委員会(H26.12.2)

議事

- (1) 飯豊町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の設定について
平成27年第1回教育委員会(H27.1.8)
議事
(1) 平成26年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
平成27年第2回教育委員会(H27.2.26)
議事
(1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正に伴う町例規整備について
(2) 飯豊町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について
(3) 飯豊町教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について
(4) 飯豊町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について
(5) 教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について
(6) 飯豊町教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する規程の制定について
(7) 飯豊町教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について
(8) 平成27年度飯豊町学校教育指針について
(9) 平成27年度飯豊町社会教育指針について
(10) 飯豊町いじめ防止基本方針の策定について
(11) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱の制定について

- (12) 飯豊町いじめ問題審議会設置要綱の制定について
平成27年第3回教育委員会(H27.3.11)
議事
(1) 平成27年度教職員人事異動の内申について
平成27年第4回教育委員会(H27.3.23)
議事
(1) 教職員の懲戒処分の内申について
平成27年第5回教育委員会(H27.3.25)
議事
(1) 飯豊町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
(2) 飯豊町立小・中学校処務規定の一部を改正する規程の制定について
(3) 飯豊町公民館(分館)施設整備事業費補助規程の一部を改正する規程の制定について
(4) 飯豊町公民館分館管理運営費補助要綱の設定について
(5) 平成27年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
(6) 平成27年度飯豊町特別支援教育就学奨励費の交付認定について
(7) 飯豊町地区公民館長の任命について
(8) 町職員人事異動の内申について

2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

平成26年第2回教育委員会協議会（H26.7.14）

- (1) 学校給食共同調理場の調理業務の民間委託について

平成26年第3回教育委員会協議会（H26.9.18）

- (1) 幼児施設将来構想について
- (2) 添川小学校及び手ノ子小学校の今後の在り方について
- (3) 学校給食共同調理場の調理業務の民間委託について
- (4) 飯豊町「町営学習塾」の実施について

平成27年第1回教育委員会協議会（H27.1.8）

- (1) 教育委員会制度改革への対応について
- (2) 学校教育環境将来構想の見直しについて
- (3) 幼児施設将来構想について
- (4) 図書室の管理運営の在り方について
- (5) 町民総合センターの管理運営の在り方について
- (6) 公民館の運営とまちづくりについて
- (7) スポーツ団体の育成とスポーツ推進について
- (8) 文化財事業推進プログラムについて

3 教育懇談会の開催、研修会への参加

町教育委員が、教育関係者をはじめ幅広く意見を聞き、それらを教育施策に反映させることを目的として開催した。

また、教育委員研修のほか、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加し、教育における諸課題について研修した。

[教育懇談会]

- (1) 平成26年度飯豊町教育懇談会（H26.11.21）

[教育委員研修]

- (1) 山形県市町村教育委員大会(H26.8.8)
・記念講演 「その一秒をけずりだせ」

講師：東洋大学陸上競技部男子長距離部門監督
酒井 俊幸 氏

- (2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会(H27.2.20)

・講演 「今後の教育委員会に期待されること」
講師：山形大学大学院教育実践研究科教授
渡部 泰山 氏

[学校等訪問]

小中学校訪問（H26.7.14）

2 教育委員会の事務の点検・評価

(重点項目) 学校教育の充実

目標 安心・安全で楽しく学べる学習環境の整備を図るとともに、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図ります。また、子ども達の望ましい教育環境を確保するため、今後の学校の在り方について検討を進めます。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 教育環境の充実</p>	<p>問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため学校支援員や児童生徒相談員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。</p> <p>いじめ問題は、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを認識し、いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、「飯豊町いじめ防止基本方針」を策定した。また、いじめの未然防止に向けては、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行った。</p> <p>昨年度に引き続き「Q-U テスト」を全校で実施するとともに、スクールカウンセラーによる心理相談を実施した。</p>	<p>学校支援員等の配置（達成） 児童生徒自立支援員 1 名、学校支援員 7 名、学習指導員 1 名を配置し、学習活動の支援や相談活動等にあたった。</p> <p>前年度から継続していた、いじめ問題 1 件については、学校やスクールカウンセラーと連携した取り組みの中で改善が図られた。 （達成）</p>		<p>引き続き各校への学校支援員の配置に努めるとともに、有資格者の確保と支援員研修を実施していく。</p> <p>いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連携し、今後もいじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続して設置し、その周知を図る。</p>

<p>体罰の防止に向けては、体罰に関する正しい認識を徹底するための研修を学校等で行うとともに、学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努めた。また、既存の相談窓口を活用し児童生徒や保護者の悩みを相談することができる体制づくりを行った。</p>	<p>学校における体罰件数は0件であった。（達成）</p>	<p>教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発生防止に努める。また体罰に関する相談窓口を開設し広報等で周知を図る。</p>	
<p>国際化社会に対応した教育施策の一環として、外国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成を図ってきた。</p>	<p>外国語指導助手の配置（達成） 小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を配置してきた。</p>	<p>引き続き外国語指導助手の配置を行う。</p>	
<p>学校と家庭と地域の連携を深めるために、学校を中心として日常的な意見交換及び交流の場をつくってきた。</p>	<p>学校・家庭・地域連携（達成） 学校運動会と地域スポレク大会の合同開催や、日常的な交通安全や防犯等の活動を通じて地域連携が行われている。</p>	<p>引き続き、学校と家庭と地域が連携し、教育環境の充実を目指すとともに、地域で子どもたちを育てる意識を高めていく。</p>	
<p>食育（食を通じた子どもの健全育成）活動を推進し、児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができるよう、関係機関や各種団体等が連携し取り組み</p>	<p>食育の推進（ほぼ達成） 栄養教諭による出前講話や「パクパクタイム食の達人」の発行による栄養知識や食文化の普及に努めた。</p>	<p>朝食をとる小学校児童の割合（4～6年生） 【H27 目標】 95% 【H26 実績】 99.4%</p>	<p>健康福祉課や農林振興課と連携を図りながら、引き続き学校給食への町内農林畜産物の利用促進や保健活動と連携した食</p>

<p>を進めてきた。</p>	<p>身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進してきた。</p> <p>一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子どもの豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。</p>	<p>生産者との連携を強化しながら地場産農林畜産物の積極的な給食利用を行い、生産者と児童生徒の交流を通じ食育推進を図ってきた。</p> <p>県外産学校給食食材の事前の放射性物質検査や、1週間分の学校給食の事後の放射性物質検査を実施するとともに、衛生管理の徹底を行い、更なる学校給食の安全や安心の確保に努めた。</p> <p>体験教室と郷土教育（達成） 学校の活動を中心として、社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田（林）活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。</p> <p>個性を活かし確かな学力を育む（ほぼ達成） 子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活</p>	<p>【H22実績】 93.8% 朝食をとる中学校生徒の割合 【H27目標】 93% 【H26実績】 96.0% 【H22実績】 88.7% H27目標はH22実績を基に設定した。実績は既に目標を上回っている。</p>	<p>生活指導、健康づくり推進を行い、健全な食生活及び食習慣を養うための取り組みを展開していく。</p> <p>引き続き、学校と地域が連携し体験学習や郷土学習を展開する中で、環境教育や感性教育、地域教育を推進し、社会や人々と豊かに関わり合える子どもを育成する。</p> <p>引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。 中学生を対象とした町</p>
----------------	---	---	---	---

	<p>「飯豊町学校・幼児教育環境将来構想」に沿って、小中学校の統廃合を進めるため、添川小学校で保護者や地域関係者との意見交換会を重ねた。</p>	<p>支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等あらゆる場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。</p> <p>学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」をプレ開講し、各学年5回ずつ開催した。</p> <p>小中学校の再編統合 添川小学校（未達成） 添川小学校のより良い教育環境を構築するために、保護者や地域関係者と現状や課題について意見交換を行った。</p> <p>手ノ子小学校（未達成） 手ノ子小学校の統合に関しては未協議である。</p> <p>第二小学校（未達成） 第二小学校保護者に対する、添川小学校及び手ノ子小学校統合に関する説明や協議を行っていない。</p>	<p>町営学習教室「いいで希望塾」については、平成27年度に開塾し、平成27年度は、1・2年生20回、3年生21回の開催を予定している。</p> <p>引き続き、子どもの立場にたった望ましい教育環境実現を最優先に捉えた上で、保護者や地域との協議を深め学校統合について理解を求める。</p>
--	--	---	--

<p>(2) 教育施設の整備</p>	<p>耐震化優先度調査結果に基づき、平成 23 年度までに第一小学校及び手ノ子小学校の耐震診断を実施し、平成 24 年度に中津川小中学校体育館棟の耐震診断を実施した。</p> <p>診断結果に基づき耐震補強工事の実施を計画的に実施する。</p>	<p>学校施設の耐震化（未達成）</p> <p>耐震診断の結果「危険性がある」と判定された手ノ子小学校体育館棟については、平成 26 年度に耐震補強工事实施設計業務を委託する予定であったが、東日本大震災時に同校体育館と同様の構造を有する建物の倒壊があり、国において耐震補強基準の見直しの結論が出なかったことから、設計年度をさらに 1 年先送りすることにした。</p> <p>耐震診断及び耐力度調査の結果「危険性がある」と判定された部分が大半を占める第一小学校の改築事業に着手するとともに、仮設校舎への移設、体育館を除く旧校舎の解体工事を実施した。</p>	<p>小中学校耐震化率</p> <p>【H27 目標】 100%</p> <p>【H26 実績】 81.8%</p>	<p>耐震化計画を着実に実行し、昭和 56 年以前建設の学校施設全ての耐震診断結果に基づき、平成 28 年度までに必要な施設の耐震補強工事を実施する。</p> <p>手ノ子小学校体育館の耐震化については、平成 26 年度末の時点では、平成 27 年度に実施設計、平成 28 年度に耐震化工事の実施を予定していた。しかし、平成 27 年 5 月末の「耐震化に関する文部科学省ヒアリング」において、Is 値が国土交通省基準の 0.6 以上(文部科学省の耐震化事業は、Is 値を 0.7 以上にするもの)であるため、耐震化の必要はないとの見解が示されたことから、耐震化工事は不要となった。</p> <p>第一小学校の改築については、平成 26 年度から 28 年度までの 3 カ年で改築工事を実施する。</p>
--------------------	--	---	--	--

	<p>児童生徒の安全を確保するための危機管理体制の確立と地域の連携の構築を目指した。</p> <p>地域情報通信基盤整備推進事業により、全校で光通信による高速インターネット接続が可能となっている。また、パソコンや電子黒板等の ICT 環境を整備し、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。</p> <p>スクールバスの運行を委託方式により実施する中で、遠距</p>	<p>危機管理体制の確立（ほぼ達成）</p> <p>学校施設のセキュリティー強化のために、施設警備保障業務を強化し、防犯カメラ・防犯ライト・玄関への電気錠の設置を行っている。</p> <p>防犯協会やPTAの活動を中心として防犯パトロール活動の強化を行った。</p> <p>飯豊町行政情報配信システム等を活用し、小中学校全校で携帯電話機への緊急メール配信の運用を行っている。</p> <p>通学路道路交通安全プログラムに基づき、今年度は手ノ子小学校通学路の合同点検を実施した。</p> <p>情報機器教育の充実（達成）</p> <p>更なる ICT 環境の充実を図るため、第一小学校の教育用パソコンを整備した。</p> <p>スクールバスの運行業務の充実（達成）</p>		<p>関係機関と連携し、引き続き、児童生徒の通学路の安全確保に努めるとともに、学校施設の防犯体制の確立及び危機管理体制の強化を図る。</p> <p>ICT 機器の計画的な更新を行うとともに、更なる ICT 環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを育てる。</p> <p>引き続き、スクールバスの充実強化に努める。</p>
--	--	---	--	--

	<p>離児童生徒の通学手段の確保を図るとともに、学校行事、学習活動や部活動等に活用している。</p> <p>教育施設の更なる充実に向けて、学校の要望を踏まえて、施設整備や備品購入等の事業を計画的に進めてきた。</p>	<p>学校施設整備（達成）</p> <p>平成 26 年度は、第二小学校トリムコース整備工事や手ノ子小学校駐車場舗装修繕工事をはじめとする各種修繕工事を実施するとともに、添川小学校体育館ワイヤレス放送設備や手ノ子小学校歩行型除雪機を購入するなど教育用備品の充実を図った。</p>		<p>引き続き、計画的に施設整備や備品整備を進める。</p>
--	--	---	--	--------------------------------

(重点項目)生涯学習活動の推進

目標 地域の特色を生かし、創意工夫による生涯学習活動を展開し、明るく活力に満ちた地域づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 学習環境の整備</p>	<p>町民総合センターや地区公民館を中心とした生涯学習環境の整備・充実を促進した。</p>	<p>生涯学習環境の整備・充実 (達成) 主なところでは、中部地区公民館の外部腰板塗装工事を始め各地区公民館の修繕を行うとともに、中部町上分館と白樺辻分館の修繕に対し助成を行い、分館の整備に対応した。</p>		<p>地区公民館施設の適宜適切な修繕等を行なうとともに、分館施設についても整備についての啓発・指導に努め、より計画的な整備を推進する。</p>
	<p>家庭、学校、地域が連携し、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動環境の充実に努めた。</p>	<p>子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動環境の充実 (達成) 各地区公民館における子供を対象とした事業や、地区運動会や地区文化祭、その他各種講座・講習会等の活動を通して、家庭、学校、地域が連携し、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動機会の提供に努めた。</p>		<p>公民館活動を中心に、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動の充実に努め、子どもたちの健全育成や社会力の向上を図る。</p>

<p>(2) 学習機会の充実</p>	<p>地域の要望や要請に応えられる魅力的な学習機会の充実や学習情報の提供に努めた。</p>	<p>魅力的な学習機会の充実と学習情報の提供（達成） 社会教育推進員、青少年育成推進員を委嘱し、主に公民館事業活動を中心に支援協力を行った。また、公民館連絡協議会の運営を通して5地区公民館が連携し、文化祭巡りの開催、HPの運用など魅力的な学習機会や学習情報の提供に努めた。 また、天文台定期公開や出前講座を行い、天文教育の普及に努めた。</p>	<p>地区公民館（5館）利用者数 【H27目標】 57,500人 【H26実績】 41,024人</p>	<p>生涯学習への期待や要望などの把握に努めるとともに、公民館連絡協議会の事業活動などを通して、リーダーの育成を図るとともに、学習・研修機会、学習プログラムの提供、相談体制の充実やインターネットを活用した情報提供を推進する。 また、学校教育・社会教育両面から天文台を活用した学習活動を推進する。</p>
	<p>自治組織・PTA・子ども会育成会などの地域活動やNPO・ボランティア団体の活動を支援した。</p>	<p>子ども会育成会等の地域活動やボランティア団体の活動支援など （一部達成） 子ども会育成会活動の振興を図るため、各地区子ども会育成会連絡協議会を通して、単位育成会に対して事業活動費の一部を助成した。高校生ボランティアについては、これまで支援してきた団体の活動休止以降、新たな団体の育成ができないでいる。</p>		<p>今後、各地区子ども会育成会連絡協議会の連絡会議を実施する。また、総合型地域スポーツクラブや中学校・公民館との連携を推進するとともに、高校生ボランティアサークルの復活をはかり、ボランティア活動の育成や青少年の健全育成に努める。</p>

<p>(3)文化財保護と利活用</p>	<p>貴重な文化財の保全と利活用を図った。</p>	<p>文化財の保全と利活用等 (達成) 萩生城址・萩生石箱遺跡の維持管理を行うとともに、新たに椿焼裏山窯及び岩倉神社仁王像の調査を行った。 このほかでは、地域史学習会を通して地域の歴史文化を学ぶ機会を提供した。</p>		<p>今後も県・町指定文化財の保存と活用を推進するとともに、学校教育や社会教育における文化財の利活用を推進する。 また、萩生城址など歴史上重要な位置付けがなされている史跡や、椿裏山窯跡等の調査研究を推進する。</p>
	<p>地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。</p>	<p>歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくり (達成) 貴重な山里文化である菅笠づくりの映像記録の作成に取り組むとともに、県が推進する山形ふるさと塾事業活動の一環として、地域の伝統文化を守り伝える公民館活動の取組みを支援した。</p>		<p>公民館活動における取組みや歴史文化を学び研究する団体・グループの育成に努める。また、映像化による記録保存を継続して推進するとともに、指定文化財や地域伝統芸能、昔語り、方言や暮らしの知恵など歴史伝統文化の保存と継承の推進を図る。</p>

(重点項目)生涯スポーツ活動の推進

目標 生涯をととしてスポーツに親しみ、スポーツをととして人々との交流や健康づくりができる環境づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) スポーツ環境の整備	町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場などのスポーツ施設を管理・運営し、施設利用の促進を図った。	<p>社会体育施設を管理・運営と利用の推進 (達成)</p> <p>スポーツ施設の管理・運営の一部業務を指定管理又は委託し、適切な管理・運営がなされるよう指導・支援した。</p> <p>施設管理面では、各スポーツ施設の維持管理に努め、町民スポーツセンターアリーナの照明や野球場気中開閉器の修繕、スキー場の照明設備補修や圧雪車整備修理、リフト通信ケーブルの改修を行なうなど、スポーツ施設全般にわたり環境整備に努めた。</p>		スキー場、スポーツセンター、プール、野球場、中津川体育館などのスポーツ施設の利便性と安全性確保し、利用の拡大を図るため、継続して各施設の維持管理や整備に取り組む。
(2) スポーツ活動の推進	生涯スポーツの実現に向け、一人1スポーツを目標に体育協会、総合型スポーツクラブやスポーツ推進委員会など各種団体を支援・育成するとともに連携し既存施設の利活用を図った	<p>生涯スポーツの実現に向けた取組み(達成)</p> <p>町体育協会(地区体協、スポーツ団体を含む)及び総合型地域スポーツクラブキララの事業活動の指導・支援を行った。</p> <p>特に総合型地域スポーツクラブキララの運営面において</p>	町民スポーツセンター利用者数 【H27 目標】11500人 【H26 実績】7728人	総合型地域スポーツクラブキララについて、町民への啓発やクラブ運営の充実を図り、特に一般会員数の増加に努め、自立したクラブ運営の基盤づくりを推進するとともに、クラブ事務局体制

	<p>全国白川ダムマラソン大会などのスポーツイベントの開催によりスポーツ人口の増加を図った。</p>	<p>は、スポーツ少年団や地区公民館の参画により、施設利用や事業面での連携が図られ、スポーツ活動の推進及び文化活動にも取り組んだ。</p> <p>スポーツイベントの開催 (達成) 全国白川ダム湖畔マラソン大会やスポーツレクリエーション祭を各スポーツ団体等の協力を得て開催した。また、スポーツセンターで開催された県総体山岳競技を支援した。</p>	<p>地域総合型スポーツクラブ会員数 【H27 目標】 300 人 【H26 実績】 390 人</p>	<p>の充実を図る。 また、スポーツ少年団にあっては、引続き魅力ある団運営と指導者の資質向上を図り加入率の向上に努める。</p> <p>全国白川ダム湖畔マラソン大会を町民の健康・交流の象徴的な事業(イベント)と位置づけ、町民のほか町外・県外からの多くの参加を得て開催できるよう運営方法の改善に努める。</p>
(3) 競技力の向上	<p>各競技指導者の人材確保と指導力育成を図り、小学生から社会人までの競技力の向上を図った。</p> <p>生徒児童の運動能力の向上を目指した。</p>	<p>指導者のための研修会・講習会の開催など (達成) 小中学生の体力や運動能力向上に向けた指導者研修会やスキー指導者講習会を開催し、子どもたちへの直接指導のほか教師等の現場指導者の資質向上に努めた。</p> <p>スポーツ教室の開催 (達成)</p>	<p>児童の運動能力 (小学5年・全国平均を上回る種目数の割合) 【H27 目標】 50.0% 【H26 実績】 81.3% 生徒の運動能力 (中学2年・全国平均を上回る種目数の割合) 【H27 目標】 70.0% 【H26 実績】 50.0%</p>	<p>今後も小中学生の体力や運動能力向上に向けた指導者のための研修会開催を継続する。</p> <p>競技力や運動能力向上のため、陸上・スキー以外</p>

		ジュニア陸上教室、親子スキー教室を開催した。		のスポーツ教室開催について、スポーツクラブとの連携を含めて検討する。
--	--	------------------------	--	------------------------------------

(重点項目) 子育て環境の整備

目標 「飯豊町次世代育成支援行動計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) 子育て支援サービスなどの充実	産休明け保育や一時保育、放課後児童クラブなど多様なサービスを展開し、子育てしやすい環境整備を図ってきた。	<p>産休明け保育の実施（達成） 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育（生後2ヶ月～6ヶ月）を実施している。</p> <p>延長保育の実施（達成） 全児童施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施している。</p> <p>一時保育の実施（達成） NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施している。</p> <p>放課後児童クラブの実施（達成） すべての小学校区に放課後児</p>	<p>保育施設待機児童数</p> <p>【H27 目標】 0人</p> <p>【H26 実績】 0人</p>	<p>次世代育成支援行動計画の後期計画を包含し作成する子ども・子育て支援計画に基づき、子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制整備、NPO法人との協働の取り組みの推進など総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。</p> <p>幼児施設教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。</p> <p>将来の保育需要の動向や出生数の推移等を見定めながら、低年齢児の保育ニーズに適切に対応するため、子ども・子育て支援新制度や幼保一体化の議論なども踏まえ、就学前児童にとって望ましい保育環境について、幼児教育環境将来構想に基づき実現していく。</p> <p>小学校の児童に対して、授業の終了後等に余裕教室などを利用して適切な遊び</p>

	<p>「めざみっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼稚園・保育園等との交流・連携・情報交換を図ってきた。</p> <p>園の畑での作物栽培や地場農産物を利用した手づくりおやつ提供などの食育の推進、高齢者との世代間交流事業の実施、伝統芸能（獅子舞や太鼓）など農村文化を体験する活動に取り組んできた。</p>	<p>童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生まで拡大し実施している。</p> <p>ファミリー・サポート・センターの運営（達成） 育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を会員とする相互援助活動を組織化することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て力を高めていくことを目的とし運営している。（平成26年度末 会員数82人 利用件数282件）</p> <p>幼保小の連携（達成） 就学予定児を対象とした給食体験や交流活動、就学後の授業参観など小学校との連携は十分に図られてきている。</p> <p>食育の推進など（達成） 地場農作物や、園の畑から収穫された旬の食材を給食やおやつに利用したり、畑の先生の指導を受けての野菜栽培体験や生産者との交流、栄養士との連携による園児・保護者への「食育」の啓発、祖父母参観の実施や、</p>		<p>の場及び生活の場を与えるとともに、その健全な育成を図るため、すべての小学校区に学童クラブを継続して開設し、放課後児童対策の充実に取り組んでいく。</p> <p>利用件数の増加や依頼内容の多様化に伴い、特に、子育てをサポートする協力会員の人員確保と講習会などで安全管理等の研修を積み重ねていくことが求められており、会員間の交流会の開催をとおして信頼関係を築きながら安心安全なサポート活動を提供するとともに、引き続き事業啓発に取り組んでいく。</p> <p>幼保小連携スタートプログラムの意義を十分に理解し、幼保小の連携と情報交換を一層進めていく。</p> <p>引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育教育の推進と高齢者の方などとの交流による保育・幼児教育の推進に取り組み、ふるさとの愛情を醸成していく。</p>
--	---	---	--	--

<p>(2)子育て家庭の負担軽減</p>	<p>こどもみらい館の活動を中心に子育て講座や、ブックスタート、あそびの広場等の各種広場を開設し、子育て世代の交流支援と、子育てサークルの活動支援を行ってきた。</p> <p>保育施設等の利用者負担の軽減を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減してきた。</p>	<p>食改グループ、高齢者団体、地域住民との交流が行われている。また、獅子舞など農村文化を体験する機会を創出している。</p> <p>こどもみらい館の運営（ほぼ達成） 子育て支援センターを併設した自由来館型児童館として、未就学の子どもと保護者、小学生等の集いと交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供などの子育て支援を実施している。</p> <p>子育てサークルとの連携による交流促進を図っているものの、組織拡大に向けたさらなる支援が必要である。</p> <p>保育園保育料の軽減（達成） 保育料の負担階層区分の変更など保育料算定基準の見直しを行い、一定の負担軽減措置を実施している。</p> <p>入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化している。保育園への複数人の同時入所の場合、二人目の軽減額を拡充し、2/3の額としている。</p> <p>幼稚園保育料及び児童センタ</p>	<p>こどもみらい館利用者数 【H27 目標】 8,000 人 【H26 実績】 10,213 人</p>	<p>こどもみらい館を中核としながら、集いと交流の場と子育て情報を提供し、引き続き子育て世代の連携と支援に取り組んでいく。</p> <p>今後も、保育料等の軽減策を継続し、保育サービス利用者など子育て家庭の経済的な負担軽減を図っていく。</p>
----------------------	--	---	---	--

	<p>幼稚園等入所児童への給食提供を実施し、育児や家事の負担軽減に取り組んできた。</p> <p>児童施設の園児送迎バスに町のスクールバスを利用し、利用者負担金の軽減を図ってきた。</p> <p>東日本大震災による被災児童を受入れし、保育料等の支援に取り組んできた。</p>	<p>ー使用料の軽減（達成） 入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化している。幼稚園等へ複数人の同時入所の場合、二人目から6,250円を減免している。</p> <p>幼稚園等入所児童への給食提供（達成） 幼稚園と児童センターに、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。</p> <p>児童施設の園児送迎バスの運行（達成） 園児の送迎バスとして、スクールバスを活用し運行するとともに、運転手の人件費、燃料費等を負担している。また平成26年度から添乗員の保険料、人件費の一部を助成している。</p> <p>東日本大震災による被災児童の受入れ（達成） 保育園2名、児童センター1名、幼稚園1名の3施設計4名を積極的に受入れし、保育料の免除等の支援を実施している。</p>		<p>今後も、栄養士が献立し、栄養バランスに配慮した、安全でおいしいおかず給食の配食を実施していく。また、小学校等の長期休業期間中におけるおかず給食の配食について検討していく。</p> <p>利用人数の増減により、利用者負担金の増減、添乗員手当の増減が生じないような各園で一定程度の均衡が図られるように配慮したルールづくりを検討していく。</p> <p>今後も、被災児童を積極的に受入れし、被災者支援として継続して取り組んでいく。</p>
--	---	---	--	---

(重点項目) 多様な芸術文化活動の推進

目標 誰もが、どこでも、芸術文化に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 音楽からのまちづくりの推進</p>	<p>音楽指導者の育成や各種団体の育成に努め、めざみの里音楽祭の開催などにより、より多くの町民が気軽に音楽に親しむことのできる環境整備に努めた。</p> <p>町民総合センター開館20周年を機に制定した「飯豊町民の歌」や、これまでに制作したオリジナル合唱曲やミュージカル曲、イメージソングなど、積極的な利活用を推進し、音楽からのまちづくりにつなげた。合唱組曲「飯豊山～我が心のアルカディア～」の男声版の編曲が完成し、めざみの里カンタートで第1楽章「大地の賦」、第3楽章「湖に捧げるアルカディア」を披露した。</p> <p>5年目を迎える「飯豊町少</p>	<p>5年目になる四季のうたを歌う集いを継続して開催。徐々にではあるが、町内外音楽団体との交流が図られてきていて、各種音楽イベントで参加いただいた。</p> <p>「山響ホリデーコンサート in めざみの里いいで」を山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団・飯豊町3者により開催。町内外からの音楽関係者約80人及び飯豊中学校吹奏楽部が賛助出演し音楽からのまちづくりを実践した。</p> <p>(ほぼ達成)</p> <p>第9回めざみの里カンタート</p> <p>7月5日(土)～6日(日)開催</p> <p>全国より19団体・個人約200人参加</p> <p>合唱組曲「飯豊山」を題</p>		<p>「音楽からのまちづくり」をより身近なものとして、体験・鑑賞できる事業を数多く開催し、また中央講師による学習機会を提供する。</p> <p>「飯豊町民の歌」の普及活動に努め、町内小中学校生への歌詞ファイルを配布し、行事等歌っていただくよう要請し、生徒と父兄等に幅広く普及を行い、更なる音楽からのまちづくりにつなげていく。</p> <p>第10回の記念めざみの里カンタートでは、合唱組曲「飯豊山～我が心のアルカディア～」の男声版の初演演奏会を行い、「飯豊山～我が心のアルカディア～」の普及を行う他、町外の音楽団体に更なるピーアールを図り、音楽</p>

	<p>年少女合唱団」、町内初の男声合唱団「プロジェクト」各種音楽団体への活動支援を行った。また、11月16日(日)にコラール・ド・めざみ、ミルキーウェイ合同コンサートが開催され支援を行った。</p>	<p>材 フェット・ド・ラ・ミュージック(町民総合センター「あ~す」) 6月21日(日)開催 夏至の日の音楽祭に、置賜地域から8団体が出演</p> <p>第19回めざみの里音楽祭 11月15日(土)開催 町内11団体が出演 四季のうたを歌う集い 春：4/12 夏：6/21 秋：9/27 冬：12/6 「山響ホリデーコンサート in めざみの里いいで」 3月22日(日) 町内外から賛助出演約80人、飯豊中吹奏楽部参加</p>		<p>団体の向上と交流をはかる。また、一般の方々にも鑑賞していただけるよう、趣向を凝らし町内外に音楽を発信できるよう下地づくりを行う。プロジェクト5周年演奏会開催の支援を行う。</p>
--	---	--	--	--

<p>(2) 芸術文化活動の推進</p>	<p>多種多様な芸術文化活動を展開し、一人ひとりが自主的に生きがいを持って活動できるような環境整備を進めた。また、地域の祭りや伝統芸能の保存・継承に努めた。 各種芸術文化団体の活動支援及び育成に努めた。</p>	<p>これまでの鑑賞型の事業に加えて、積極的に参加し、学習できる内容の事業も展開することができた。(ほぼ達成)</p> <p>各種展示の実施 写真・書道・ちぎり絵など</p> <p>第 41 回町芸能発表会 12 団体出演 10 月 19 日(日)開催 子ども芸術鑑賞教室 6 月 17 日(火)開催 青島広志 とっておきの音楽会。 午前：小学生対象 午後：中学生対象</p>	<p>町芸術文化協会会員数</p> <p>【H27 目標】 560 人</p> <p>【H26 実績】 318 人</p> <p>【H21 実績】 537 人</p>	<p>各種芸術文化団体と連携し、多種多様な事業を強力にサポートしていく。主催事業等を積極的に開催する。 芸術文化協会会員が団体の統合等で減少しているため、若者の発掘や芸術文化に親しむ環境づくりの整備を図る。 芸能発表会・会員作品展を継続的に開催し、芸術文化の普及を推進する。</p>
<p>(3) 優れた文化・芸術に親しむ環境づくり</p>	<p>町民総合センターを活用し、優れた文化芸術を鑑賞する機会の充実に努めた。また、施設整備の充実に図った。 読書普及活動、図書利用環境づくりを図った。</p>	<p>老朽化が進む施設を、計画的な修繕を図るため、修繕計画を基に年次計画で修繕を行うような下地づくりを行った。 国の補助による太陽光発電設備設置工事を行った。 開館以来更新していない研修室机、椅子と音響卓を購入し更新を図った。</p>	<p>町民総合センター利用者数</p> <p>【H27 目標】 25,000 人</p> <p>【H26 実績】 27,866 人</p> <p>【H21 実績】 23,505 人</p>	<p>建設から 23 年が経過し老朽化が進む施設を、修繕計画を基に計画的な修繕を行い整備を図る。特に、開館以来更新していない中央監視盤や、照明配電盤について部品の生産が中止になって、故障すれば修理不可能なため更新が必要となる。また、屋根についても漏水</p>

		<p>開館以来舞台・音響・照明機器操については、あ～すミキシングスタッフがボランティアで行っていたが、ボランティア団体が維持が困難になったために、今年度舞台・音響・照明機器操作業務について業者に委託した。</p> <p>読書普及活動図書利用促進については、利用時間を5月から10月まで午後6時まで時間延長した。</p> <p>子ども読書週間、読み聞かせ活動や出張お話広場、こどもみらい館との連携による乳幼児対象のブックスタート等を開催した。(ほぼ達成)</p>	<p>町民総合センター図書貸出冊数</p> <p>【H27 目標】 16,000 冊</p> <p>【H25 実績】 13,764 冊</p> <p>【H21 実績】 14,949 冊</p>	<p>が見られ大規模修理の必要がある。優先順位を付けて計画的な予算要求が必要である。</p> <p>新たに『飯豊町読書推進計画』を策定されるので、それを受けて図書利用促進を図る。そのために蔵書数を増やし、魅力ある図書館運営に努める。また、若者にも興味を持てるヤングアダルト部門の充実を図る。読み聞かせ団体を育成し、指導者養成を図り読書普及活動を推進する。</p> <p>また、図書貸出システムについて耐用年数を大幅に超えているため、更新する必要があるが生じている。</p>
--	--	--	--	--